※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3018 |
|---|---|

# 令和５年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 保健 | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新高等保健体育」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「新高等保健体育ノート」　（大修館書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・男女の性差を理解し、健全なコミュニケーションができるようになろう。
・妊娠・出産・子育てなどについて正しい知識を身につけ、家族や社会に貢献できるようになろう。
・健康な状態で働くことの意義を理解し、加齢とともに変化する健康課題にも関心を持ち、予防を心掛け、その課題解決に取り組もう。
・医療サービス・保健行政・健康サービスについて理解しよう。
・環境問題に関心を持ち、安全な生活にするための、自己や社会の取り組みを考えよう。

## ２　学習の到達目標

個人および社会生活における心身の健康の維持増進や安全確保について理解を深めるとともに、生涯を通じて自らが健康に対して自己管理できる資質や能力を育てる。
安全な社会作りの取り組みに対して支援できる心掛けや態度を育てる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代社会と健康、生涯を通しての健康や社会生活における健康についての課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し運用できる知識を持っている。 | 現代社会と健康、生涯を通しての健康や社会生活における健康についての課題を見つけ、その解決を目指して総合的、理論的に考え、判断し表現できる。 | 現代社会と健康、生涯を通しての健康や社会生活における健康について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 現代社会と健康 | 1年時の復習<br>心肺蘇生法の原理とおこない方<br><br>1. 心肺蘇生法の原理<br><br>2. 心肺蘇生法の手順<br><br>3. 心肺蘇生法の実習 | a: 胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動除去の原理や心肺蘇生法の各手順のポイントを理解し、実践できたり、記述することができる。<br>b: 心肺蘇生法の手順やAEDの使い方や実践方法が正しいかを判断したり、他者の実施について互いに教えあえる活動ができる。<br>c: 心肺蘇生法の手順やAEDの使い方を実践したり、その注意点を考えるなど学習活動に取り組もうとする。 | | 発言<br>実技実習<br>レポート | 観察 |
| | 生涯を通じる健康 | 1. 思春期と健康<br><br>1. 思春期における体の変化と性機能の成熟<br><br>2. 思春期における心の変化と健康課題 | a: 思春期の精神的な特徴を記述したり説明したりすることができる。<br>b: 思春期における体の変化について理解し、自分と比較したり、他者と話し合えることができる。<br>c: 思春期における体の変化について興味を示し、資料を探したり見たりして学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | | 2. 性意識の変化と性行動の選択<br><br>1. 性意識の変化と異性の尊重<br><br>2. 性に関する情報と性行動の選択 | a: 性に関する正しい情報の得方を理解し、説明することができる。<br>b: 思春期における男女の性への意識の違いについて他者と意見交換したりして性意識を深めようとする。<br>c: 思春期における男女の性への意識の違いについて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 3. 結婚生活と健康<br><br>1. 結婚･婚姻状況と健康<br><br>2. 夫婦関係、親子関係と健康 | a: パートナーとの良好な関係の構築は、良好なコミュニケーションが必要であることを理解し、説明することができる。<br>b: 結婚生活について必要な条件を他者と意見交換したりして深めようとする。<br>c: 心身の健康的な発達が結婚生活の中で重要な条件であることについて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 生涯を通じる健康 | 4.妊娠･出産と健康<br><br>1. 受精･妊娠･出産<br><br>2. 母体の健康 | a: 母体の健康と母子の健康のために心掛けるポイントを理解し、記述することができる。<br>b: 母子の健康サービスにはどのようなものがあるのかを学び、今後どのような支援が必要かを考えることができる。<br>c: 母体と胎児は一体であることを理解するために、妊娠や出産についての資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | | 5. 家族計画<br><br>1. 家族計画の意義<br><br>2. 避妊法の選択と人工妊娠中絶 | a: 家族計画や避妊法、人工妊娠中絶について考慮しなければならないことについて説明、記述したりできる。<br>　また、命の大切さについて説明できる。<br>b: 家族計画や避妊法、人工妊娠中絶について自分の考え方を説明することができる。<br>c: 家族計画とは必要性を考え、出産に関する情報や、避妊に関する情報についての資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 生涯を通じる健康 | 6. 加齢と健康<br><br>1. 加齢にともなう心身の変化<br><br>2. 中高年期を健やかに過ごすために | a: すべての人が健康で安全に生活していくために必要な考え方や具体策を理解し、説明することができる。<br>b: 中高年期の現状を踏まえその健康課題や支援策を考えることができる。<br>c: 中高年期の健康課題について資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | | 7. 高齢社会に対応した取り組み<br><br>1. 高齢者を取り巻く環境<br><br>2. 高齢者を支える社会の仕組み | a: 高齢者が健康で安全に生活していくために社会の取り組みを具体策を理解し、説明することができる。<br>b: 高齢者の現状を踏まえその健康課題や支援策を考えることができる。<br>c: 高齢者の健康課題について資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 生涯を通じる健康 | 8. 働くことと健康<br><br>1. 働くことの意義と働き方の変化<br><br>2. 働き方における健康問題 | a: 健康で安全に働くために労働観の変遷とそれぞれの健康課題を具体的に理解し、説明することができる。<br>b: 社会の変化やニーズの変化にともない、働き方が変化していることを理解し、自らが労働に携わる際の対応の仕方ついて考えることができる。<br>c: こんにちの働き方の変化とそれにともなう健康問題について資料を探したり、見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 生涯を通じる健康 | 9. 労働災害とその防止<br><br>1. 日本における労働災害の推移<br><br>2. 労働災害を防止するための仕組み | a: 日本における労働災害の推移とそれを防止するための仕組みを理解し、説明することができる。<br>b: 労働災害が起こる背景について考え、その防止対策について説明、記述することができる。<br>c: 日本の労働災害の傾向について説明、記述することができる。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 生涯を通じる健康 | 10. 働く人の健康つくり<br><br>1. 職場における健康の保持･増進活動<br><br>2. 日常生活における健康の保持増進活動 | a: 余暇の意義や余暇の活用ついて考え、その姿勢について説明、記述することができる。<br>b: 心の健康問題が発生した際の対応の仕方ついて考えることができる。<br>c: 職場における健康つくりについて資料を探したり、見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 健康を支える環境づくり | 1. 大気汚染と健康<br><br>1. 大気汚染による健康への影響<br><br>2. 地球規模の環境問題 | a: 大気汚染の健康被害から地球規模の環境問題を説明、記述することができる。<br>b: 大気汚染の健康被害ついて学び、自分自身や社会のできることを考えることができる。<br>c: 大気汚染と私たちの健康との関わりについて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | | 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康<br><br>1. 水質汚濁による健康への影響<br><br>2. 土壌汚染による健康への影響 | a: 水質汚濁・土壌汚染の健康被害から地球規模の環境問題を説明、記述することができる。<br>b: 水質汚濁・土壌汚染の健康被害ついて学び、自分自身や社会のできることを考えることができる。<br>c: 水質汚濁・土壌汚染と私たちの健康との関わりについて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 健康を支える環境づくり | 3. 環境汚染を防ぐ取り組み<br><br>1. 環境汚染の防止とその対策<br><br>2. 産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の課題 | a: 環境汚染を防ぐ取り組みには個人的なことと社会的なものがありその二つが連携していることを理解し、環境にやさしいライフスタイルについて説明、記述することができる。<br>b: 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染の加害者・被害者は私たちであることを理解し、日常生活を見直す考えを持てるようになる。<br>c: 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染は密接に関係しており、汚染は複合的に起こる仕組みについて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | | 4. 環境衛生に関わる活動<br><br>1. 安全な飲み水の供給と汚水の処理<br><br>2. 生活環境を守るごみの処理 | a: 上下水道の整備だけではなく、河川を汚さないライフスタイルの重要性を理解し、環境問題を説明、記述することができる。<br>b: 自分自身のゴミ削減や循環型社会について考えることができる。<br>c: ゴミの処理と今後の動向について資料を探したり、見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 健康を支える環境づくり | 5. 食品の安全性と健康<br><br>1. 食品の安全性と課題<br><br>2. 食品の安全性の確保 | a: 食品の安全性や課題について理解し、安全の確保に対しても説明、記述することができる。<br>b: 食品の安全性や課題、安全の確保について考えることができる。<br>c: 食品の安全性をめぐる課題ついて資料を探したり、見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 健康を支える環境づくり | 6. 食品の安全性を確保する取り組み<br><br>1. 食品の安全性を確保する行政、生産、製造者の役割<br><br>2. 食品の安全性の確保と私たちの役割 | a: 安全な食品を選択することの大切さや、食中毒の防止について日常生活への活かし方を考え、説明、記述することができる。<br>b: 食品の安全性を守るために行政・生産者・製造者それぞれに役割があることについて考えることができる。<br>C: 食品の安全性を確保するために資料を探したり、見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 健康を支える環境づくり | 7. 保健制度とその活用<br><br>1. 人々の健康を守る保健行政<br><br>2. 健康の保持増進のために活用できる保健サービス | a: 保健サービスを受けるための準備について具体的に考え、説明、記述することができる。<br>b: さまざまな保健サービスにはそれぞれの役割があり、その利用の仕方について考えることができる。<br>c: 医療保険のしくみついて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 健康を支える環境づくり | 8. 医療制度とその活用<br><br>1. 医療制度と医療保険<br><br>2.医療保険の役割と適切な活用 | a: 医療サービスを受けるための準備について具体的に考え、説明、記述することができる。<br>b: さまざまな医療機関にはそれぞれの役割があり、その利用の仕方について考えることができる。<br>c: 医療機関・医療サービスのしくみついて資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 健康を支える環境づくり | 9. 医薬品の制度とその活用<br><br>1. 医薬品の種類と承認制度<br><br>2. 医薬品の使い方 | a: 医薬品の副作用や過去の薬害について学び、医薬品の安全性を確保するための考え方や具体策を理解し、説明することができる。<br>b: 医薬品の副作用や過去の薬害について学び、その健康課題や支援策を考えることができる。<br>c: 医薬品の効果を最大限に引き出すために、その使用法について資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 健康を支える環境づくり | 10. さまざまな保健活動や対策<br><br>1. 地球規模の健康課題を解決する取り組み<br><br>2. 様々な機関・組織の活動 | a: ヘルスプロモーションの考え方について理解し、さまざまな保健活動があることを説明、記述することができる。<br>b: さまざまな保健活動はヘルスプロモーションの考え方にもとづいていることを理解したうえで、個人や社会の健康に対してどんな保健活動ができるのか自分の考えを述べることができる。<br>c: 日本の世界的な規模で展開している保健活動について資料を探したり見たりするなど学習活動に取り組もうとする。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |
| | 健康を支える環境づくり | 11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境つくり<br><br>1. すべての政策や取り組みに「健康」の視点を<br><br>2. 多様な人や組織が参加して進める環境づくり | a: 健康目線で環境つくりに貢献できる具体案を説明、記述することができる。<br>b: 様々な背景を持った人々が有効に活用できる環境整備や取り組みを行う必要があることを理解し、自分の考えを述べることができる。<br>c: 学校や地域、社会全体など様々なレベルで環境について考えることができる。 | 定期考査 | ワークシート<br>保健ノート<br>発言 | 観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度